

翻訳者のネットワークと 翻訳支援辞書ソフトの開発で 企業媒体の多言語展開を支援

日興美術株式会社 代表取締役社長

櫻井幹一郎さん

Kanichiro Sakurai



櫻井幹一郎社長



デジタル化を推進し、CD-ROM・DVDへ展開

日興美術株式会社

静岡市葵区流通センター12-1

☎054-263-2211

<http://www.nkbj.co.jp>

取引先のメディア制作、梱包、 発送業務を代行

当社の取引先は、1業種1社にしぼっています。機密保持に努める一方、お客様のの中に入りこんで、すべてのメディアを制作し、さらに今までお客様が個別に発注していたものを当社が一括管理し、部品の調達から梱包、発送までを代行し、作業効率の向上と低コスト化に貢献しています。

デジタルカメラの場合、当社がカメラを入れるパッケージ、取扱説明書、CD-ROMを制作し、ストラップやバッテリーは外部調達し、それらをすべて藤枝工場でセットして、御前崎港から当社の九州配送センターへ、そこで残りの不足分をセットし検品をして、1日12回(2時間おき)に配送、納品しています。厳しい経済情勢の中、企業はコストダウンに結びつく投資を行ないたがっています。そこで当社では、こうした形でのコスト削減の提案をして、取引先の新規開拓に努めています。

グローバルネットワークで企業 メディアの多言語展開を支援

当社がいち早く海外戦略を進められたのも、製品の輸出割合が80〜90%を占める取引先のニーズにそって、業務を展開した結果です。1980年代にアメリカのデザインプロダクションやベルギーの翻訳会社との業務提携を経て、欧米に現地法人を設立し、デザイナーや翻訳者とのグローバルネットワークを構築。英文以外の英文は日本で作成)30カ国以上の言語によるマニュアル制作の実績を積み上げてきました。その後、インターネットの発達で海外の翻訳スタッフとのコミュニケーションが容易になりましたので、欧米の現地法人は廃止しています。

また、翻訳支援辞書ソフトを開発して、過去の翻訳文章をデータベース化。これを活用することで、ネイティブの翻訳スタッフの手間を減らし、短納期で精度の高い翻訳を実現しています。

台湾の現地法人では、中国むけ デジタルコンテンツを制作

デジタル一眼レフカメラは国内で製造し、ヨーロッパでの売上比率が高いですが、自動二輪車やパソコンは、東アジアに製造拠点を移して全世界に輸出しています。

当社では、台湾に製造拠点をもち自動二輪車メーカーを支援するため、1995年、台北市に静興(股)有限公司を設立しました。現地スタッフがマニュアルやサービス資料を中国語から中国語(北京語から広東語)、北京語から英語・その他の言語に展開する作業を行ない、そのデジタルコンテンツの制作も行なっています。

また、中国の重慶市に拠点を置く日系の新商印刷有限公司には、指導者の派遣や技術の供与を行ってきました。今のようないく高でも、価格競争力のある日本製品はあります。それらを海外で販売するため、マニュアル等の多言語展開は今後も増えていくと予測しています。